

# 全会派対象に外部監査

政務費問題で  
市川市議会

政務活動費（調査費）をめぐる問題で、市川市議会（定数42）は14日臨時議会を開き、個別外部監査の実施に向けて大久保博市長が今月6日付で行った専決処分を承認した。

個別外部監査は、全会派の42人が対象。2011年度から13年度に各会派に支出された政務活動費のうち、切手購入費、備品購入費、市内視察費、会報作成費を対象に、適正に使用されたかどうかを調べらる。

政務活動費をめぐっては先月、対立する二つの市議グループが地方自治法に基づき調査特別委員会（百

条委）の設置を求める発議を相次いで提案。両案とも可決する異例の事態となり、大久保市長が百条委より前に外部監査を実施する方針を示していた。市は監査を委託する公認会計士を選定中で、大久保市長は「3月末までに監査結果を報告したい」としている。

## 新正副議長を選出

この問題に関連し先月24日に議長を辞職した岩井清郎議員の後任に宮田か

つみ議員（自民党、4期）を選出した。14日に松永鉄兵副議長も辞職し、後任にかつまた竜大議員（民主・連合・社民、2期）を選出した。

